

「インパクト投資拡大に向けた提言書」 を読み解く！

～インパクト投資の今とこれから～

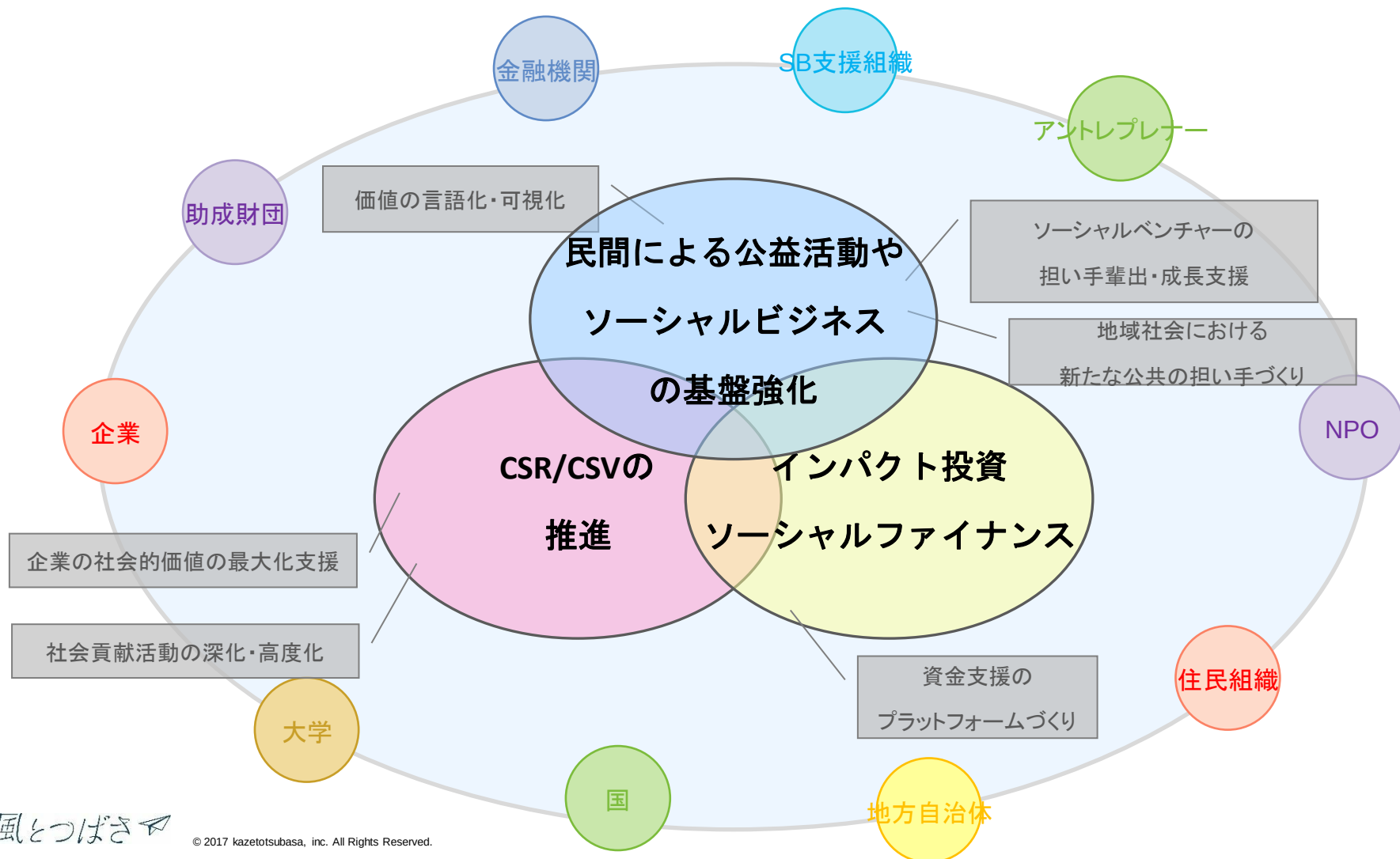
2020年8月

【第2回】インパクト投資オンラインセミナー

風とつばさ 

関心領域・専門分野

ソーシャルイノベーションの推進／ソーシャルエコノミーの創出
／社会的インパクト投資・ソーシャルファイナンス



今日のテーマ

本日のテーマ

「インパクト投資拡大に向けた提言書」 を読み解く！

～インパクト投資の今とこれから～

本日の2大トピックス

(前半戦)

2015→2019

インパクト投資の
世界にどんな変化が
あったのか？

- インブット中心
- 前半戦の最後にQ&Aタイム
- Qはどんどんチャットにご記載下さい！

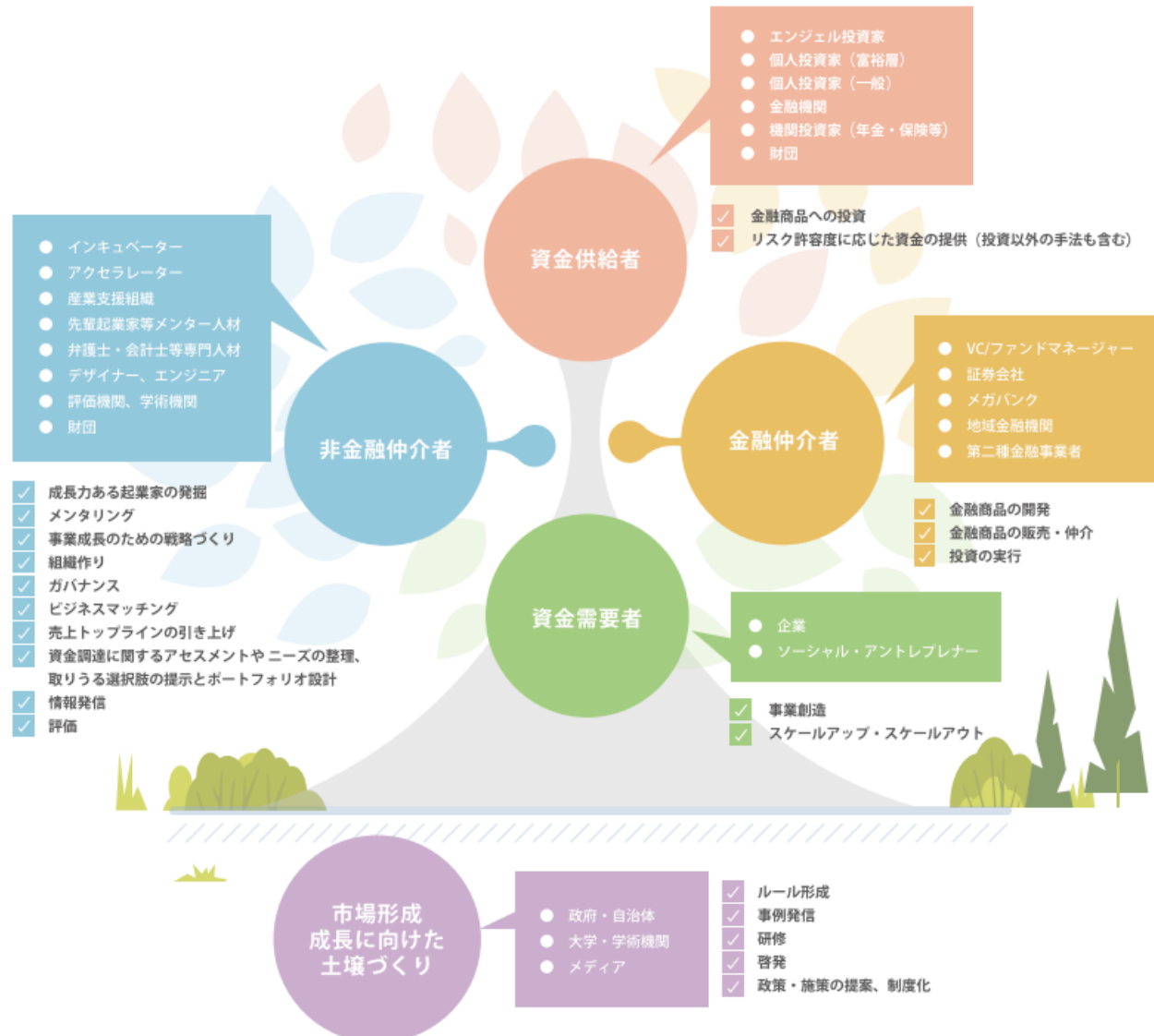
(後半戦)

2020→2025

インパクト投資の
世界にどんな変化が
求められるのか？

- ディスカッション中心
- 提言書を実際にDLして黙読→ディスカッションへ
- ディスカッションの観点はこちらから提示

質問：みなさんにとって、近い立ち位置はどれですか？（複数回答有）



(2015→2019)
**インパクト投資の世界に
どんな変化があったのか？**

第1回セミナーのおさらい（インパクト投資とは何か）

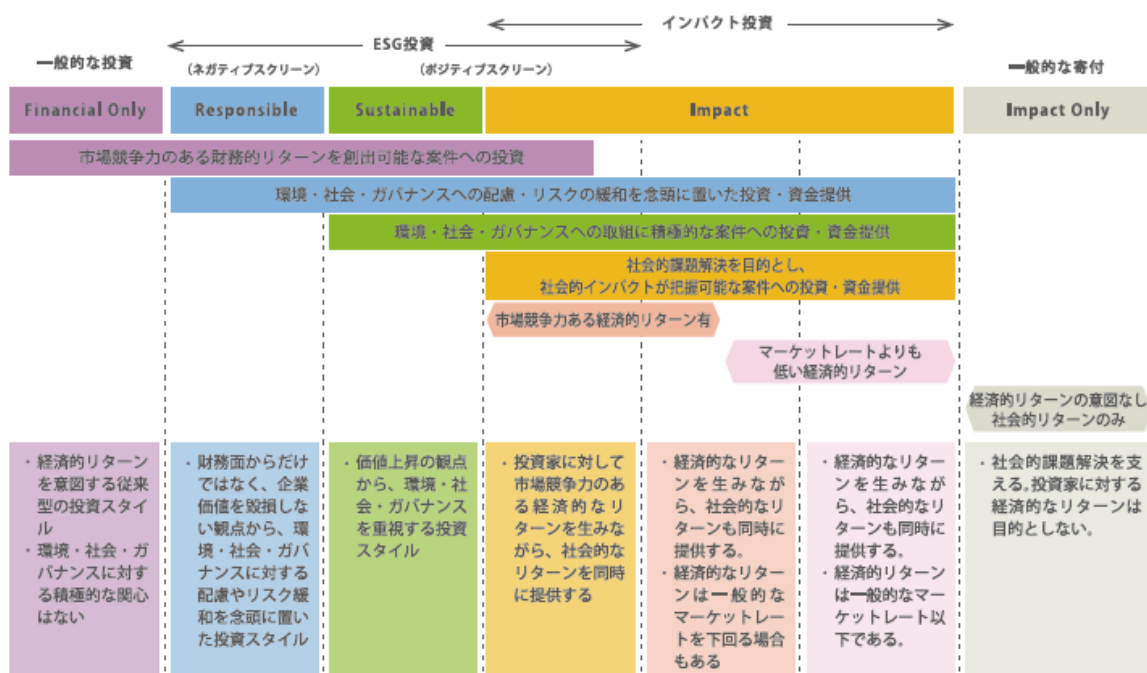
■ 社会面・環境面での課題解決を図ると共に、経済的な利益を追求する投資行動のこと。

■ 用語の登場は2007年、ロックフェラー財団が主催した国際会議（WS）にて誕生

図表1 | 用語の定義

用語	定義
インパクト	事業や活動の結果として生じた、社会的・環境的な変化や効果（短期、長期を問わない）
社会的インパクト評価	社会的インパクトを定量的・定性的に把握し、事業や活動について価値判断を加えること
インパクト投資	社会面・環境面での課題解決を図ると共に、経済的な利益を追求する投資行動のこと。投資（株式・債券）、融資、リース等、金銭的リターンを求める一切の金融取引をまとめて「投資」と呼ぶ。寄付・補助金・助成金等は対象外とする

図表2 | インパクト投資とは何か

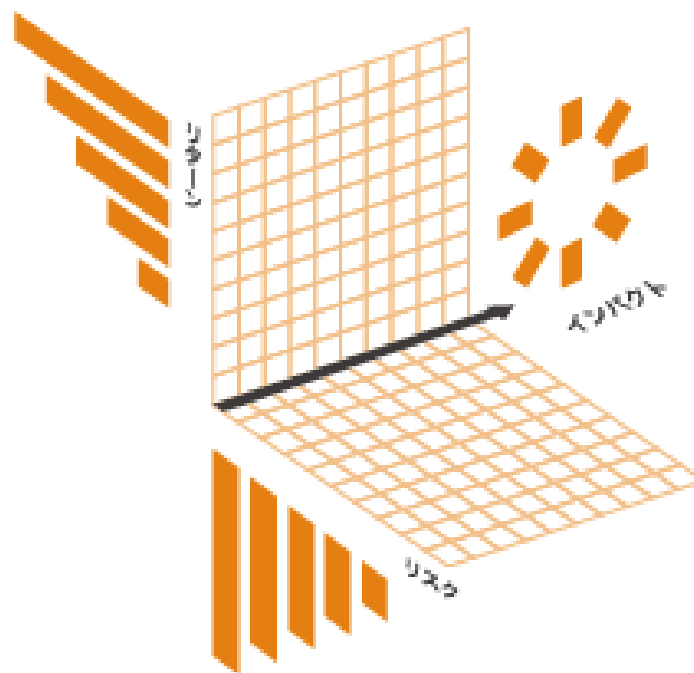


インパクト投資は、投資のパラダイムシフトを促す存在

- 持続可能な社会に向けて、投資のあり方そのものを問う存在
- 投資が持つ社会的な価値を、投資判断として組み入れる点で画期的
- (ソーシャル) スタートアップや成長するベンチャーへの投資が生まれる。
- 社会格差・経済格差を是正する側面、SDGsへの貢献も

図表11

投資における第3の軸



構成要素 (Key elements)

2) インパクト投資の構成要素 (key elements)

インパクト投資とは何か、より詳細に見ていきたい。インパクト投資のグローバルなネットワーク組織である Global Impact Investing Network (GIIN)は、インパクト投資の構成要素(key elements)として次の4つを挙げている。

図表9 インパクト投資の構成要素



(出典) GIIN webサイトから筆者整理

図表10 インパクト投資の4つの中核的な特性(GIINによる整理)



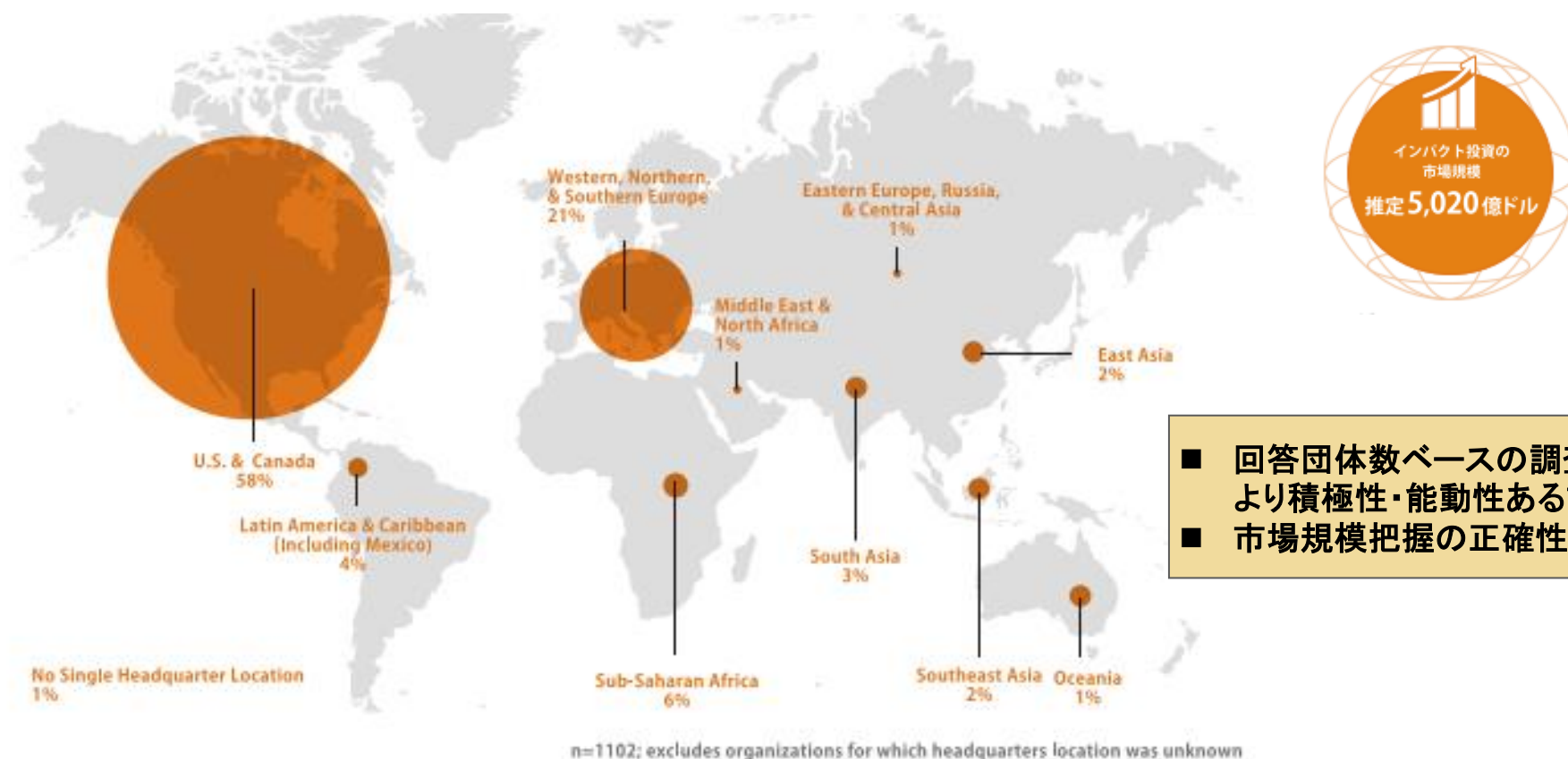
(出典) GIIN webサイトを基に筆者要約

- 用語の定義や構成要素、中核的特性、スペクトラムなどは、2019年版の提言書で改めて(日本語版としては初めて)整理を行ったもの
- 実践が積み重なる中で、改めて「インパクト投資とは何か」が問われ始めており、GSG本体やGIINなどを中心に、海外でも議論が積み重なりつつある

世界の変化

世界の市場規模

- 2019年、世界のインパクト投資の市場規模は5,020億ドルを突破
- US&カナダが約6割と突出、次いでヨーロッパが2割程度



- 回答団体数ベースの調査から、より積極性・能動性ある調査へ
- 市場規模把握の正確性向上

(参考) 市場規模調査の質的な転換



- 過去10年に亘り、インパクト投資の市場規模をアンケート形式により調査
- 2019年版は269組織が回答（2,390億ドル）
2020年版は294組織が回答（4,040億ドル）

- 2019年に初めて、インパクト投資の市場規模を推計
- 推計の結果、2019年度に5,020億ドルと市場規模を推計。左記のアンニアルサーベイではこの手法を援用し、市場規模を7,150億ドルと推計

(世界) 成長の背景と要因

1 迫られる気候変動への対応

- ・気候変動が脅威から現実になる中で、気候変動の加速が企業の事業環境を不安定化させ、投資利益の毀損に繋がることが広く認識されるようになった
- ・投資家は企業のみならず、政府・国際機関に対してもエンゲージメントを強めており、こうした投資家の行動は、これまでにないスピードで金融のあり方に転換を促している
- ・また気候関連の財務情報開示の強化など、リスクを市場に正しく反映させ金融の不安定化要因を払しょくする試みも広がりつつある

2 ジェンダー投資の新潮流

- ・女性の金融アクセスの向上および貧困削減、エンパワメントを積極的に推し進める Gender-lens Investing が世界的にも注目を高めている
- ・JAPAN ASEAN Women Empowerment Fund や Investing in Women (豪州) など、インパクト投資を活用して女性たちの起業支援や金融包摂、経済的・社会的地位の向上を目指す動きが広がりつつある

3 SDGsとの接続と国際社会における枠組みの発展

- ・SDGs の達成には毎年 5 ～ 7 兆ドルの投資が必要だとされており、民間資金の流入加速は必須である
- ・こうした中、IFC (国際金融公社) は社会的インパクト投資に関する運用原則を公表。OECD においてもインパクト投資の推進が掲げられたほか、2018 年の国連総会では SDGs Impact が立ち上げられた
- ・またグリーンボンド、ウォーターボンド、ワクチン債、マイクロファイナンスボンド等の民間による金融商品も拡大を見せている

4 社会的インパクト評価の成熟

- ・社会的インパクト評価に関する知見も、過去 10 年間で成熟・発展を見せ、原則や指標、事例といった知見の蓄積が進んでいる
- ・2018 年には UNDP、IFC、OECD、PRI、GSG 等の 9 つの組織が参加する The Impact Management Project (IMP) が誕生するなど、国際的なイニシアチブが発展をみせている

5 ESG投資分野全体の成長

- ・ESG 投資の市場規模は 30 兆 7,000 億ドルに成長した。これは過去 2 年で 34% の増加を意味する
- ・ESG 投資の広がりを機に、金融の持つ社会的側面への関心に一層の高まりつつあり、その背景には SDGs の達成に向けた国際的な合意と要請がある

G20大阪サミットにおける成果

G20大阪サミット

- ・2019年6月に開催されたG20大阪サミットでは、いわゆる「首脳宣言」において、「革新的資金調達メカニズム」への言及がなされた¹
- ・さらに同サミット第3セッションの安倍総理のスピーチの中で、「インパクト投資や休眠預金等の検討において、国際的議論の先頭に立つ」と示された²

図表4 | G20大阪サミット 首脳宣言における革新的資金調達メカニズムへの言及

G20 大阪首脳宣言

包摂的かつ持続可能な世界の実現
「開発」

開発のための国際的な公的及び民間資金、並びに、ブレンディッド・ファイナンスを含むその他の革新的資金調達メカニズムが、我々の共同の取組を高めていく上で重要な役割を担うことができることを認識する

(出典) G20 2019 OSAKA ウェブサイトから

図表5 | G20 大阪サミット 第3セッション 安倍総理スピーチ

第3セッション 「格差への対処, 包摂的かつ持続可能な世界」 (2019年6月29日開催)

「SDGsの達成には、科学技術イノベーション(STI)が不可欠です。G20で新たに合意したSTI for SDGsロードマップ策定のための基本的考え方を広く共有していきます。加えて日本は、地球規模課題の解決に必要な資金確保のため、社会的インパクト投資や、休眠預金を含む多様で革新的な資金調達の在り方を検討し、国際的議論の先頭に立つ考えです。」

(出典) 首相官邸 ウェブサイトから

日本の変化

市場の拡大、実例の多様化

- 2019年、日本で把握できたインパクト投資の市場規模は3,179億円

図表6 | 日本におけるインパクト投資残高（推計）の推移¹

	2016	2017	2018	2019
投資残高累計	337億円	718億円	3,440億円	3,179億円
回答団体件数	21件	24件	20件	16件

- 2015年、神奈川県横須賀市と兵庫県尼崎市の2事例のみだったSIB
- 両事例はパイロットプログラムであり、事業費の全額負担を日本財団が行っていた
- その後、神戸市、東近江市、八王子市、広島県など、SIBの導入件数は増加。民間投資家も登場
- 大手金融機関も市場に参入。（例：神戸市における三井住友銀行）

図表47 国内におけるSIBの導入状況



機関投資家の参入と市場拡大

- 第一生命保険株式会社は、2017年頃からインパクト投資に本格参入
五常&カンパニー株式会社への4億円の投資、以降複数の非上場企業への投資を実施、その金額は25億円に
- 野村アセットマネジメント株式会社は世界各国の先進医療関連企業を対象とする投資信託を個人投資家に販売
- クラウドクレジット株式会社は2018年に社会的インパクト投資宣言を実施。
- JICAはIFCの運用原則に日本初の署名し、複数の投資案件に参画

図表48 2015年以降に登場したインパクト投資の例

年	月	実施主体	内容
2016年	9月	JICA、JBIC、住友生命保険相互会社等	BlueOrchardが運営するファンド“JAPAN ASEAN Women Empowerment Fund”へ出資
2017年	1月	新生企業投資 株式会社	子育て支援ファンド(正式名称：日本インパクト投資 1号投資事業有限責任組合)を設置 ・ファンド規模5億円
	10月	第一生命保険 株式会社	五常・アンド・カンパニー株式会社に対し4億円投資 以降合計8社に対し、約25億円を投資
	11月	笹川平和財団	アジア女性インパクトファンドの設立を公表
2018年	6月	クラウドクレジット株式会社	社会インパクト投資宣言を実施。複数の投資商品を組成・販売
		JICA	株式会社東京証券取引所が運営するTOKYO PRO-BOND Marketに、財投機関債250億円を初めて上場
	7月	プラスソーシャルインベストメント	社会的投資プラットフォームentry (エントライ)をサービスイン
	10月	野村アセットマネジメント 株式会社	野村ACI先進医療インパクト投資
2019年	6月	新生企業投資 株式会社 一般財団法人 社会変革推進財団 株式会社 みずほ銀行	日本インパクト投資 2号ファンドを設置
	8月	JICA	五常・アンド・カンパニー株式会社との間で、10億円の投資契約に調印
	9月	JICA、JBIC、住友生命保険相互会社、 笹川平和財団	“JAPAN ASEAN Women Empowerment Fund”へ追加出資

市場の成長を支える環境整備（日本）

1 日本政府の積極的な動き

- ・ G20 大阪サミットでの、首脳宣言や総理スピーチ（詳細 p4）を踏まえて、国際社会におけるイニシアチブの発揮に向けた取組みが進展しつつある
- ・ 「拡大版 SDGs アクションプラン 2019」においては、SDGs 達成に向けた資金ギャップ解消に向けて国際社会の世論をリードする旨が宣言された
- ・ またこれを受け、外務省においては「SDGs の達成のための新たな資金を考える有識者懇談会」が設置されるなど、積極的な取り組みが始まっている
- ・ SIB については、取組みの進展を受け「経済財政運営と改革の基本方針 2018」、「未来投資戦略 2018」、「まち・ひと・しごと創生基本方針 2019」等において、いっそうの拡大が宣言・提案されている

2 ESG投資の飛躍的成長

- ・ 世界最大の機関投資家である年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) において、2015 年の責任投資原則 (PRI) 署名を皮切りに ESG 投資への取組が加速
- ・ こうした GPIF の取り組みは、国内の機関投資家の行動変容をけん引している

3 国内の諸機関の変化

- ・ 日本証券取引所において、グリーンボンド・ソーシャルボンドに関するプラットフォームの開設、日本証券業協会における SDGs 推進懇談会設置やインパクト投資関連商品の組成・販売に向けた検討開始など、多くの変化の兆しがみられる

4 社会的インパクト評価の進展

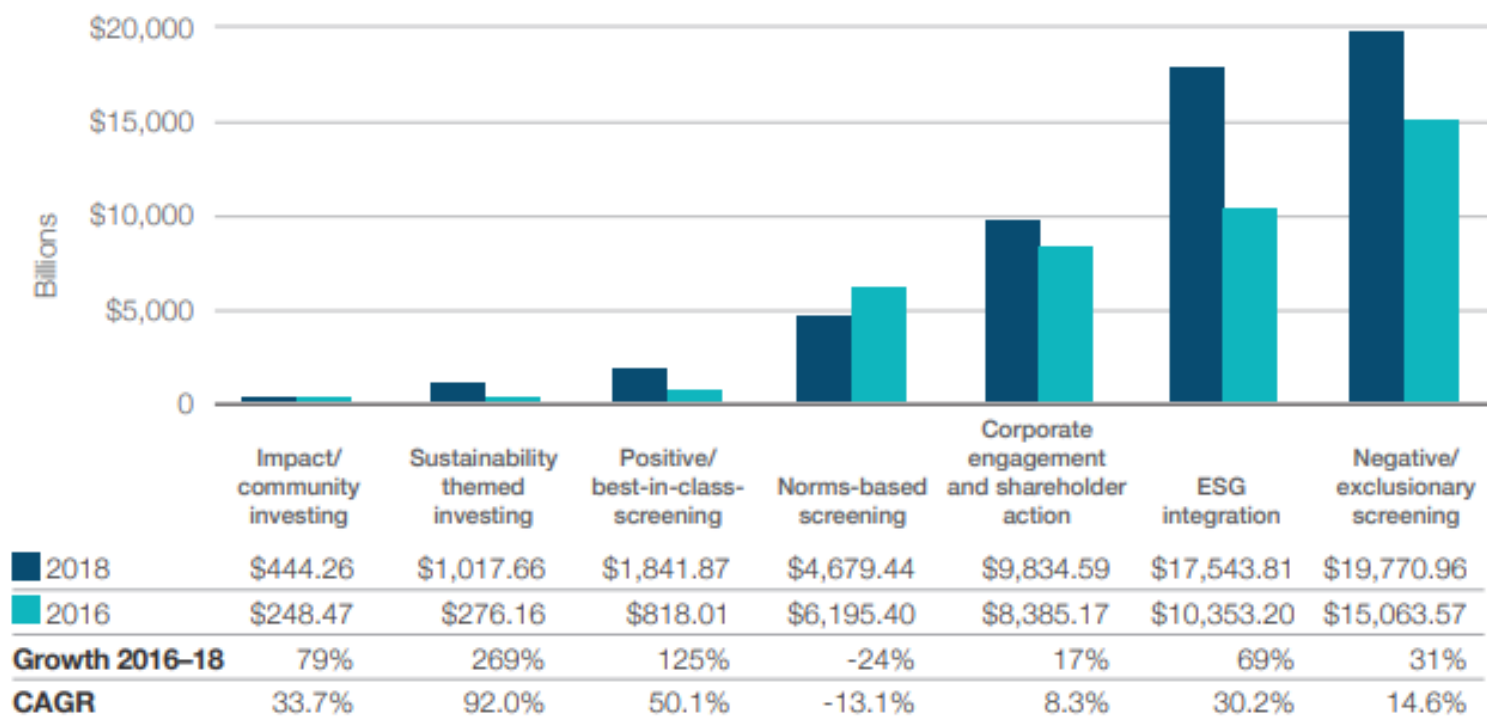
- ・ 社会的インパクト評価イニシアチブが 2016 年 6 月に発足。国内外の知見を集約しながら進化を続けている
- ・ またインパクト投資の実践の拡大に従って、社会的インパクト評価の実例にも広がりや深まりが生まれている

5 休眠預金の活用における取組みの進展

- ・ 休眠預金に関する取り組みはこの数年で大きく進展
- ・ 2016 年 12 月の法案成立、2017 年春の休眠預金等活用審議会の設置を経て、実行フェーズに移りつつある

金融の変化

- 持続可能な社会に向けた世論形成が広がる中で、金融のあり方にも変化が生まれている
- ESG投資の市場規模の把握を行うグローバル・サステナブル投資連合(The Global Sustainable Investment Alliance / GSIA)は、2018年度の市場規模を30兆7,000億ドルと発表している。
- この額は、過去2年で34%の増加を意味しており、ヨーロッパを除くすべての地域で増加傾向にあるという。



Note: Asset values are expressed in billions.

Some corrections to the 2016 strategies have been made. See the Methodology section for more information.

本日の2大トピックス（再掲）

（前半戦）

2015→2019

**インパクト投資の
世界にどんな変化が
あったのか？**

（後半戦）

2020→2025

**インパクト投資の
世界にどんな変化が
求められるのか？**

後半の進め方

- 参加者の皆さんと対話することを目指し、下記の5つのステップで後半戦を進めます。

提言書（キービジュアル集） のDL

- ・ 提言書キービジュアル集を、GSG国内諮問委員会webからDL
- ・ 該当URLは、事務局からのメールに掲載されています
(ZOOMアドレスをお送りしたメールご参照)

「読み解く上でのポイント」 の解説

- ・ 4つのコンテンツにフォーカスし、
 - 執筆者として何を意図してまとめたのか
 - どんなメッセージを読み取って頂きたいかを解説します。

「問い」の提示

- ・ 皆さんに投げかけたい「2つの問い」を予めお伝えします。
(=ディスカッションの観点)

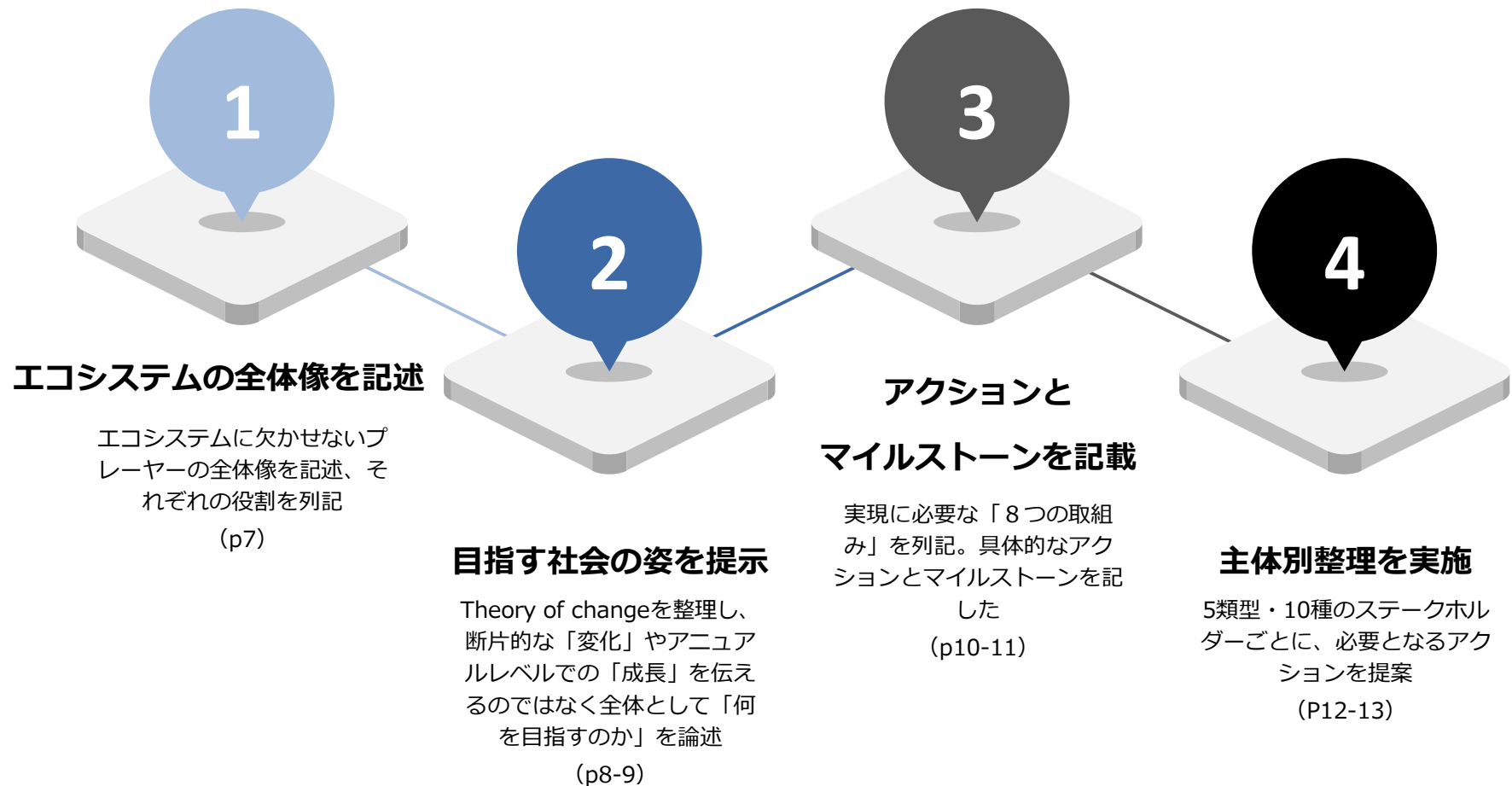
黙読！

- ・ 4分間の黙読+コメント記載タイムを取ります
(疑問でなくコメントでOKです。)

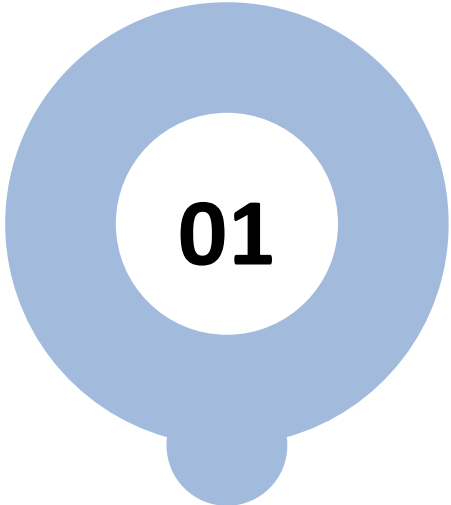
ディスカッション

- ・ 残る時間を使って、ディスカッションを行います
 - * 19時以降は、エクストラセッションとして引き続きディスカッションを行います。
 - * 人数に応じてブレイクアウトルームを準備します。

「提言」を読む ：読み解く上でのポイント ～どんな工夫を行ったか～



ディスカッションにおける問い



01

それぞれの立場からのコメント

ご自身のお立場から見て、4つのコ
ンテンツをどのように感じたか
(付加したいこと、違和感、共感)



02

アクセルとブレーキは？

インパクト投資拡大に向けた
アクセルとブレーキは何か？